

研究機関：広島大学

研究課題名	肝硬変患者における腹部 CT で評価した筋肉量の変化に関する観察研究
研究責任者名	広島大学大学院医歯薬保健学研究科 消化器・代謝内科学 職名 教授 氏名 茶山 一彰
研究期間	2017年7月11日～2020年12月
対象者	2017年7月～2018年12月31日までに、広島大学病院消化器・代謝内科に受診された低アルブミン血症もしくはその既往のある20歳以上の肝硬変患者さんを対象とします。
意義・目的	<p>サルコペニアとは進行性および全身性の骨格筋量や骨格筋力の低下を特徴とする症候群であり、身体的な障害や生活の質の低下、死などとの関連が報告されています。一方で、肝硬変患者さんでは、サルコペニアを生じやすいと考えられています。さらに、サルコペニアは肝硬変患者さんの生命予後に関わる因子となるという報告があり、臨床的に重要であると考えられています。</p> <p>特に筋肉量低下のハイリスク集団と考えられる低アルブミン血症を有する肝硬変患者さんにおいては、筋肉量低下の実態や、筋肉量の変化に与える臨床的な因子についての情報が求められています。</p> <p>本研究では、低アルブミン血症の肝硬変患者さんを対象として、腹部 CT で評価した筋肉量の変化について調査することを目的としています。</p>
方法	本研究は、主に診療録（カルテ）情報を転記して行います。カルテから転記する内容は、年齢、性別、身長、体重、BMI、BCAA 製剤服薬状況、Child-Pugh score、アルブミン値、総ビリルビン値、PT 値、アンモニア値、肝性脳症の有無、腹水の有無、肝癌の有無、分岐鎖アミノ酸製剤内服の有無、ヘモグロビン値、血小板値、InBody のデータ、CT における筋肉量のデータ、握力値、歩行速度（m/s）等の情報です。個人が特定出来る情報は転記しません。収集した情報は、EDC システムを利用して兵庫医科大学病院へ送付し、兵庫医科大学病院でこれらを取りまとめます。データは適切に保管管理されます。
共同研究機関	本研究は兵庫医科大学病院を中心とした20施設による多施設共同研究です。以下の機関と共同で研究します。情報は匿名化したうえで、兵庫医科大学病院に集められ、解析されます。 <p>兵庫医科大学病院、岐阜大学医学部附属病院、山口大学医学部附属病院、岩手医科大学、久留米大学、三重大学、大阪府立成人病センター、杏林大学医学部、愛媛大学大学院、東海大学、獨協医科大学越谷病院、関西医科大学、国際医療福祉大学 JCHO 大阪病院、九州医療センター、東海大学医学部付属大磯病院、秀和総合病院、奈良県立医科大学、愛媛県立中央病院、佐賀大学医学部附属病院</p>

研究機関：広島大学

試料・情報の管理責任者

兵庫医科大学 主任教授 西口修平

個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5191

広島大学病院 消化器・代謝内科 助教 平松 憲